

新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

TARC 検査は、アトピー性皮膚炎の重症度評価の補助としてご出検をいただいておりますが、新たに急性期の薬剤性過敏症症候群（DIHS/DRESS）の診断補助として、新規受託を開始いたします。

敬白

記

■受託開始日 令和7年11月1日（土）受付分より

■検査要項

薬剤性過敏症症候群は、発熱や多臓器障害を伴う重篤な薬疹の一つで、抗けいれん薬等の限られた薬剤で誘発されることやヒトヘルペスウイルス6の再活性化を伴うことが特徴です。また、他の汎発型薬疹（ステイブンス・ジョンソン症候群、中毒性表皮壊死症、播種状紅斑丘疹型薬疹等）と症状が類似しており鑑別が困難なうえ、治療方針が大きく異なることから、発症早期の鑑別が求められています。

本検査は、急性期のDIHS/DRESSでは高値を示すのに対して、その他汎発型薬疹では軽度の上昇にとどまるため、DIHS/DRESSの鑑別診断補助に有用な検査であると報告されています。

検査項目	検体量 (mL) 保存法	容 器	検査方法	基準範囲	実施料 点数	所 要 日 数	備 考
1327 TARC (薬剤性過敏症症候群)	血清0.3 冷蔵	1	CLEIA	pg/mL 4000未満	179	2~3	判断料区分: 免疫学的検査 (注)

注)イ 薬剤性過敏症症候群が疑われる患者に対し、当該疾患の鑑別診断の補助を目的として、血清中のTARC量を測定する場合に、一連の治療につき1回を限度として算定できる。ただし、医学的な必要性から一連の治療につき2回以上算定する場合においては、その詳細な理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。(ア)(ウ)略

■留意事項

以下の場合、TARC値に影響を与える恐れがあります。DIHS/DRESSの診断は、DIHSの重篤副作用疾患別対応マニュアルに記載の判別基準を参照し、他の関連検査及び臨床症状等も含めて総合的にご判断下さい。

- ・重症アトピー性皮膚炎患者
- ・皮膚T細胞リンパ腫の患者
- ・移植片対宿主病(GVHD)の疑いがある患者
- ・プレドニン換算で20mg/日以上ステロイドの全身投与を受けている患者
- ・プレドニン換算で20mg/日未満ステロイドの全身投与を5日間以上継続されている患者
- ・急性期のDIHS/DRESSの診断補助を目的としているため、回復期には使用しないで下さい

■依頼方法

マークポジションの設定はございません。A検査依頼書の備考欄にTARC（薬剤性過敏症症候群）とご記載下さい。

以上



Android用



iOS用

総合検査案内アプリは
こちらから

*お問合せ先：029-837-2721 総合インフォメーション

2025-A-056